

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(6)(HP 収載)

—トリフォノフのバッハ—

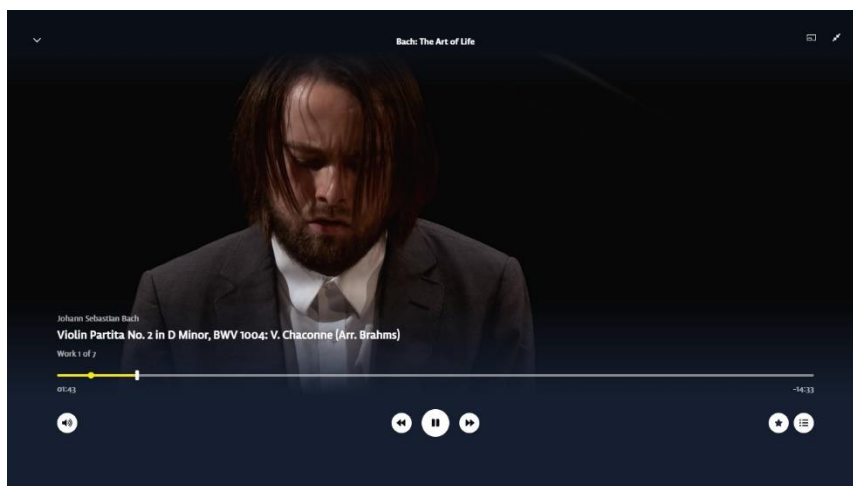
1. 始めに

前報(5)に引き続き、STAGE+の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ダニエル・トリフォノフのバッハのピアノ演奏を選びました。

試聴音源は、前報(2)の検索手順で下記を選定しました。前報(1)でも簡単に触れましたが、今回はじっくり通して聴いてみます。



作品の題名と演奏者は次のとおりで、バッハ一族の作品の演奏です。

Bach: The Art of Life

Daniil Trifonov

Performance date: 25/10/2021

収録曲は次のとおりです。

Johann Sebastian Bach

Violin Partita No. 2 in D Minor, BWV 1004: V. Chaconne (Arr. Brahms)

Johann Sebastian Bach

**Herz und Mund und Tat und Leben, Cantata BWV 147: Jesu, Joy of Man's
Desiring (Transcr. Myra Hess for Piano)**

Johann Sebastian Bach

The Art Of Fugue, BWV 1080

Johann Sebastian Bach: The Art of Fugue, BWV 1080: Contrapunctus 14 (Fuga a 3 Soggetti) (compl. by Daniil Trifonov)

Johann Christian Bach

Keyboard Sonata in A major, W.A 11

Wilhelm Friedemann Bach

12 Polonaises, F. 12

Carl Philipp Emanuel Bach

Rondo in C Minor, H 283

3. 試聴の経過

The Art of Life : Bach というテーマでのバッハ一族の作品を集めたアルバムの動画です。

メインの **Johann Sebastian Bach** の作品は、ヴァイオリン、カンタータ、管弦楽などからのピアノへの編曲ものです。原曲は、いずれもお馴染みの曲で、フーガの技法などは古楽器によるアンサンブルとは違った趣があり、退屈することなく一気に聴いてしまいました。

最後のアンコール曲のような演奏は **Johann Christian Bach**、**Wilhelm Friedemann Bach**、**Carl Philipp Emanuel Bach** などバッハ一族の作品で、時代が下るとともに作風が変わっていく様子がトリフォノの巧みな表現力による弾き分けでよく分かります。

4. まとめ

バッハ一族の作品のピアノ版をトリフォノが香り高く弾いていました。

以上